

図書館長

のつぶやき

夏 草 冬 濤



『夏草冬濤』
井上 靖／著

「思うぞら 遊び惚けぬ そのかみの 香貫
我入道 みなとまら 夏は夏草 冬は冬濤」

これは、沼津市民文化センターにある井上靖氏の碑文の言葉です。そして実は東高の校長室にもこの額があります。東高に赴任してきたとき、校長室に通されてこの額を見たときはちょっと心が躍りました。「思うぞち」とは、気の合った者どうしのこと。友人と思いきり自由な時間を井上靖氏はこの沼津の地で過ごしたのでしょう。

『夏草冬濤』は皆さんご存じのとおり、井上靖が旧制沼津中学時代をもとに書いた小説です。その冒頭は夏の水泳訓練から始まります。

七月二十日から夏期休暇にはいったが、その日から十日間、静浦で泳ぎのできない低学年の生徒のために、水泳の講習会が開かれた。三年生の洪作はそれにはいった。洪作は小学生時代を郷里の伊豆の山村で送っていて、夏は毎日のように川にはいていたので、川なら、どんな急流でもそれに体を投げ込むことができたが、海となると、からきし意気地がなかった。――洪作はナンガレができるくらいだから、潮の中へ体を浮かすことはできた。泳ぎもすぐ覚えることができた。ただ深いところへ行くことはできなかった。体も浮くし、多少の泳ぎもできるので、指導に当たっている上級生の命令通り、飛込台の設けられてあるところまでは、普通の少年なら、なんでもなく行くことができる筈だったが、洪作はそれがだめだった。ここは大海の一部であり、底知れぬ深さを持った海につながっているのだと思うと、ふいに恐怖心が彼を襲った。

無理矢理上級生に沖の飛び込み台まで連れて行かれた洪作はそのまま置き去りにされますが、とある四年生の3人組が助けてくれます。

――「漕げるか」「うん」「それなら、お前、漕いで行け。俺たちは泳いで行く」寒いのか、ぶるぶると顔をふるわせていたが、やがて、ずんぐりした方は、ひとつ跳躍すると、いきなり頭を下にして、海面へ突きささって行った。続いてもう一人の小柄な少年が飛込台を離れた。この方は、途中で体を一回転させて、その上で頭から潮の中へは行って行った。「ボートへ乗って帰れよ」金枝は洪作に言うと、彼もまた飛込台の上で二、三回跳躍し、それからこれもまたみごとなフォームで宙に体を浮かした。洪作は三人の少年たちの海を何とも思っていない動作が、眩しく感じられた。きらきらしたものが飛込台の上にやって来れば、あっという間にそこから居なくなっている。――

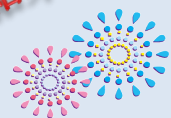
この4年生との出会いが洪作の中学生生活を大きく変えるのですが、それはさておき、先日1年生は海浜教室がありました。海浜教室で泳いだ海は洪作少年が突き落とされた海と時間を超えてつながっています。1年生は海浜教室で、2年生もまた高原教室で「思うぞち」といういろいろなことを語り合ったりしたことでしょう。それは、大正時代の洪作少年と同じ地平にある「少年時代」という時間なのです。

読書会の推薦図書決まる。



9月には読書会が開かれます。先生方の推薦図書を読み、一緒に語り合います。読書はひとりで読む楽しみも当然ありますが、人と共有するのもまた楽しい時間です。同じ本を他の人はどう読んだのか。「そう、そう」「え？どこに書いてあったっけ」共感することもたくさんあるでしょうし、意外な感想にびっくりしたり。もう一度読み直してみたいくなるのが読書会の面白さです。そして紹介して下さった先生の思いを感じたり、先生の知らなかった意外な一面を知ることが出来るかもしれませんね。

結果発表



第161回芥川賞受賞
『むらさきのスカートの女』
今村夏子／著 朝日新聞出版



第161回直木三十五賞
『渦 妹背山婦女庭訓 魂結び』
大島真寿美／著 文藝春秋

選書会について



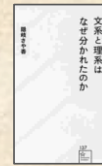
第1回選書会が7月23日に行われました。今回は全学年図書委員による選書会です。どんな本が選ばれるか…お楽しみに。順次配架予定です。夏休み中の貸出もできます。

読書会について

「沼東生に薦める本」として図書館カウンター横に先生方の推薦本を展示しています。1・2年生の為の参考用サンプルです。9月2日にはその中から1冊を選んで書いた感想文を、必ずクラス担任の先生に提出してください。読書会は9月9日(月)です。

推薦本は館内で閲覧してください。貸出はできません。

読書会推薦本の紹介(ほんの一部)



『文系と理系はなぜ分かれたのか』
隠岐さや香／著
星海社新書



『学び続ける力』
池上彰／著
講談社現代新書



『ホモ・デウス』(上・下)
ユヴァル・ノア・ハラリ／著
河出書房新社



『ヒマラヤに学校をつくる』
カネナシコネナシの僕と、見捨てられた子どもたちの挑戦』
吉岡大祐／著
旬報社



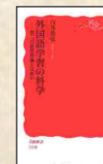
『友だち幻想
人と人の〈つながり〉を考える』
菅野仁／著
ちくまプリマー新書



『朽ちていった命
被曝治療83日間の記録』
NHK「東海村臨界事故」取材班／著
新潮社



『甲子園への遺言
伝説の打撃コーチ高島導宏の生涯』
門田隆将／著
講談社



『外国語学習の科学
第二言語習得論とは何か』
白井恭弘／著
岩波新書



『この川のむこうに君がいる』
濱野京子／著
理論社



『ザ・ヘイト・ユー・ギヴ
あなたがくれた憎しみ』
アンジー・トーマス／著
岩崎書店



夏休み中の開館時間

夏休み中の図書館開館時間は下記の通りです。
本の貸し借り、閲覧室の利用ができます。
* 自習室の利用時間も同じです *



月	火	水	木	金	土	日
7/29	30	31	8/1	2	3	4
通常開館	通常開館	終業式 通常開館	9:00 5	9:00 5	閉館	閉館
5	6	7	8	9	10	11
9:00 5	9:00 5	9:00 5	9:00 5	9:00 5	閉館	山の日 閉館
16:00	16:00	16:00	16:00	16:00		
12	13	14	15	16	17	18
振替休日 閉館	閉館	閉館	閉館	閉館	閉館	閉館
19	20	21	22	23	24	25
9:00 5	9:00 5	9:00 5	9:00 5	9:00 5	閉館	閉館
16:00	16:00	16:00	16:00	16:00		
26	27	28	29	30	31	9/1
9:00 5	9:00 5	9:00 5	9:00 5	9:00 5	閉館	閉館
16:00	16:00	16:00	16:00	16:00		

新着本の紹介 6月～7月				★読書会推薦本			
書 名	著者名	請求番号	出版社	書 名	著者名	請求番号	出版社
000 総 記				400 自然科学			
〈問い〉の読書術	大沢 真幸	019.9 オオ	朝日新聞出版	図解でわかる14歳から知る人類の脳科学、その現在と未来	松元 健二	491.3 マツ	太田出版
読むことの歓び 明治大学文学部読書感想文コンクール優秀賞作品集	明治大学文学部	019.2 メイ 10	明治大学文学部	ぼくらの未来をつくる仕事 脳外科医からベンチャー経営者へ	豊田 剛一郎	498 トヨ	かんき出版
静岡県経済白書2019-2020		019 シズ	静岡経済研究所	500 技 術			
世界の大好きたちが教えてくれた人生を変えた本と本屋さん	ジェーン・マウント	020.4 マウ	エクスナレッジ	プラスチック・フリー生活 今すぐできる小さな革命	ジャンタル・プラモンドン	519 プラ	NHK出版
高校生と考える21世紀の論点	桐光学園中学校・高等学校	041 トウ	左右社	大量廃棄社会 アパレルとコンビニの不都合な真実	仲村 和代 藤田 さつき	519.7 ナカ	光文社
100 哲学・心理学				世界の美しい学校	パインターナショナル	526.3 パイ	パインターナショナル
心という難問 空間・身体・意味	野矢 茂樹	104 ノヤ	講談社	野菜保存のアイデア帖	島本 美由紀	596.3 シマ	パインターナショナル
哲学・航海日誌	野矢 茂樹	104 ノヤ	春秋社	700 芸 術			
大森荘蔵-哲学の見本	野矢 茂樹	121.6 ノヤ	講談社	レオナルド・ダ・ヴィンチ 上・下	ウォルター・アイザックソン	702.3 アイ 1・2	文芸春秋
ウパニシャット	辻 直四郎	126.3 ツジ	講談社	夜の工場百景 ドローン空撮写真集	小林 哲朗	748 コハ	講談社
プラトン ソクラテスの弁明	岸見 一郎	131.2 キシ	角川書店	オリンピックと万博 巨大イベントのデザイン史	暮沢 剛巳	757 クレ	筑摩書房
ソクラテスの弁明	プラトン	131.3 プ	光文社	★私の好きな曲	吉田 秀和	760.4 ヨシ	筑摩書房
ソクラテスの弁明・クリトン	プラトン	131.3 プラ	講談社	ものがたり西洋音楽史	近藤 譲	762.3 コン	岩波書店
心理学でわかる女子の人間関係・感情辞典	石原 加受子	143.5 イシ	朝日新聞出版	那須雪崩事故の真相 銀嶺の破断	阿部 幹雄	786.1 アベ	山と溪谷社
自己肯定感の教科書 何があっても「大丈夫。」と思えるようになる	中島 輝	146.8 ナカ	SBクリエイティブ	800 言 語			
★結局、「すぐやる人」がすべてを手に入れる	藤由 達蔵	159 フシ	青春出版社	つまずきやすい日本語	飯間 浩明	810.4 イイ	NHK出版
より良く生きるヒントとしての潜在意識活用講座	及川 幸久	169.1 オイ	幻冬舎	一字違いの語彙力 肝に命じる?肝に銘じる?弱冠?若冠?	山口 謡司	810.4 ヤマ	さくら舎
眠れないほど面白い空海の生涯 1200年前の巨人の日常が甦る!	由良 弥生	188.5 ユラ	三笠書房	平成新語 出どこはどこ? 平成を象徴する言葉の「起源」!	中村 三郎	814.7 ナカ	柏書房
200 歴史・地理				一億人の英文法 すべての日本人に贈る-「話すため」の英文法	大西 泰斗	835 オオ	ナガセ
★戦後70年につぼんの記憶	橋本 五郎	210.7 ハシ	中央公論新社	100年かけてやる仕事 中世ラテン語の辞書を編む	小倉 孝保	892.3 オク	プレジデント社
令和を生きるための昭和史入門	保阪 正康	210.7 ホサ	文芸春秋	900 文 学			
★昭和の怪物七つの謎 続	保阪 正康	281 ホサ 2	講談社	なぜ古典を勉強するのか 近代を古典で読み解くために	前田 雅之	910.2 マエ	文学通信
風景学入門	中村 良夫	290.1 ナカ	中央公論新社	シアター! [1]	有川 浩	913.6 アリ 1	角川書店
★モーターサイクル・ダイアリーズ	エルネスト・チェ・ゲバラ	296 ゲ	角川書店	ノーサード・ゲーム	池井戸 潤	913.6 イケ	ダイヤモンド社
300 社会科学				破滅の王	上田 早夕里	913.6 ウエ	双葉社
みんなの「わがまま」入門	富永 京子	309 トミ	左右社	銀行支店長	江波戸 哲夫	913.6 エハ	講談社
現代に生きるファシズム	佐藤 優	311.8 サト	小学館	坂の途中の家	角田 光代	913.6 カク	朝日新聞出版
キャッシュレス国家「中国新経済」の光と影	西村 友作	332.2 ニシ	文芸春秋	サスツルギの亡霊	神山 裕右	913.6 カミ	講談社
「金融緩和時代」の終焉	榊原 英資	333.6 サカ	詩想社	物語が、始まる	川上 弘美	913.6 カワ	中央公論新社
★ミッション 元スターバックスCEOが教える働く理由	岩田 松雄	335.1 イワ	アスコム	カゲロボ	木皿 泉	913.6 キサ	新潮社
いのちの再建弁護士 会社と家族を生き返らせる	村松 謙一	336 ムラ	角川書店	ちょっと今から仕事やめてくる	北川 恵海	913.6 キタ	角川書店
キャッシュレス覇権戦争	岩田 昭男	338 イワ	NHK出版	木曜日の子ども	重松 清	913.6 シゲ	角川書店
超孤独死社会 特殊清掃の現場をたどる	菅野 久美子	368 カン	毎日新聞出版	ヴァチカン図書館の裏蔵書 [3] 贖罪の十字架	篠原 美季	913.6 シノ 3	新潮社
★0才から100才まで学び続けなくてはならない時代を生きる	落合 陽一	370.4 オチ	小学館	人類最年長	島田 雅彦	913.6 シマ	文芸春秋
400 自然科学				★七緒のために	島本 理生	913.6 シマ	講談社
科学する心	池沢 夏樹	404 イケ	集英社	私本・源氏物語	田辺 聖子	913.6 タナ	文芸春秋
科学と非科学 その正体を探る	中屋敷 均	404 ナカ	講談社	夢見る帝国図書館	中島 京子	913.6 ナカ	文芸春秋
★世にも美しき数学者たちの日常	二宮 敦人	410.2 ニノ	幻冬舎	美しき愚かものたちのタプロー	原田 マハ	913.6 ハラ	文芸春秋
数学ガール 乱択アルゴリズム	結城 浩	410.4 ユウ	SBクリエイティブ	希望の糸	東野 圭吾	913.6 ヒガ	講談社
数学ガール ケーデルの不完全性定理	結城 浩	410.4 ユウ	SBクリエイティブ	検事の信義	柚月 裕子	913.6 ユズ 4	角川書店
数学ガール フェルマーの最終定理	結城 浩	410.4 ユウ	SBクリエイティブ	古典落語100席 滑稽・人情・艶笑・怪談…	立川 志の輔	913.7 タテ	PHP研究所
数学ガール	結城 浩	410.4 ユウ	SBクリエイティブ	82年生まれ、キム・ジョン	チョ ナムジュ	929.1 チョ	筑摩書房
★世界でいちばん素敵な地球の教室	円城寺 守	450.4 エン	三オブックス	カササギ殺人事件 上・下	アンソニー・ホロウイツ	933.7 ホロ 1・2	東京創元社
日本の地震地図 決定新版	岡田 義光	453.2 オカ	東京書籍	ネルソンさん、あなたは人を殺しましたか? ベトナム帰還兵が語る「ほんとうの戦争」	アレン・ネルソン	936 ネル	講談社
★生物進化を考える	木村 資生	467.5 キム	岩波書店	4歳の僕はこうしてアウシュヴィッツから生還した	マイケル・ボーンスタイン	936 ボ	NHK出版
本と虫は家の邪魔 奥本大三郎対談集	奥本 大三郎	486 オク	青土社	ノートルダム・ド・バリ 上・下	ユゴー	953.6 ユゴ 1・2	岩波書店
医の希望	斎藤 英彦	490.4 サイ	岩波書店	アルケミスト	パウロ・コエーリョ	969.3 コエ	角川書店